## 第4回 イベント処理入門

今回の演習の目的は次の通りである。

- 使用しているブラウザにおける「開発者ツール」の使い方
- 簡単なイベント処理を JavaScript で処理すること
- イベント処理関数をつける要素の位置の理解

今回からは課題に(必須)と書かれたものを最低行うこと。それ以外の課題はいくつか選択してよい。

課題 1 (「開発者ツール」の使い方(必須)) 演習のビデオ1を見て次の問いに答えよ。

- 1. 使用しているブラウザと「開発者ツール」の開き方を記せ。
- 2. 「Elements」タブを開き、今までに作成した SVG ファイルに対して要素の属性を直接変える。
- 3. 「Console」タブを開き、コンソールへの入力位置を確認する。
- 4. コンソールで適当な算術式(2+3など)を入力して結果が表示されることを確認する。
- 5. SVG ファイルを開き、

document.getElementsByTagName("polyline"); を実行し、その結果を報告する。polylineのところは該当する要素名に変えること

**課題 2 (クリックイベントの処理)** 演習のビデオ 2 を見て次の問いに答えよ。イベント処理関数の設定は window.onload 内で行うこと。

- 1. クリックされた円の塗りつぶし以外の属性を表示する。
- 2. (**必須**) 図形の種類をを変えて、クリックしたとき、複数の属性値を表示させる。文字列の表示はテンプレートリテラルの形式を用いること
- 3. (**必須**)alert の代わりに console.log を用いると開発者ツールの Console に表示される。 alert を使用した場合との違いを考察せよ。
- 4. 2 種類以上の図形を表示させ、その上でクリックしたときに要素名が表示されるようにプログラムしなさい。
- 5. (必須) 正方形をいくつか置いてクリックすると移動するようにプログラムしなさい。
- 6. 正方形をいくつか置いてクリックすると色が変化するようにプログラムしなさい。
- 7. 異なる種類の要素を置いてクリックすると位置が変化するようにプログラムしなさい。

課題 3 (イベント処理をつける場所) 演習のビデオ 3 の前半部「クリックした位置に円を移動」を見て次の問いに答えよ。

- 1. (**必須**) 画面全体を覆う長方形の属性 **fill** を **none** にしたら動作に変化があるか、その理由 も含めて答えよ。
- 2. (必須) 円に対してもイベント処理関数を登録してその上をクリックしたときに移動するようにせよ。
- 3. (必須) 円の上をクリックしたら色が変化するようにせよ。
- 4. 2つ以上の要素を置き、要素以外のところでクリックしたら最後にクリックした要素がクリックした位置に移動するようにせよ。初期値は適当に設定してよい。
- 5. (**必須)** 円の上をクリックすると円の色を表示 (3) のリストを実行し、動作することを確認すること。
- 6. 前間と同じリストに対し、 16 行目の g を取り除いて、svg 要素の属性 id を Canvas にする と正しく動くか確認する。
- 7. 「クリックした位置に円を移動」において、画面全体を覆う長方形なしで、円上も含めてクリックした位置を円の中心にするようにできるか検討せよ。

課題 4 (ドラッグ処理) 演習のビデオ3の後半部「マウスのドラッグを処理」を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理」を実行し、気になる点を記せ。
- 2. (**必須**) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理 (改良版)」を実行し、前間の気になる点が修正されているか述べよ。さらに、DOM ツリーが変化しているか確認せよ
- 3. (必須) 正方形をドラッグするようにしなさい。
- 4. 通常、Windows 上でアイコンなどをドラッグするときと、ここでのドラッグするときの相違点を述べ、それを改善せよ。
- 5. 円と正方形の図形に対し、1種類のイベント処理関数でする方法を考えよ。図形の種類が増えてもイベント処理関数に手を付けないようにするにはどのような方法があるか検討せよ。

## 情報メディア専門ユニットI(演習)

第4回(5/16)ノートの内容

今回から JavaScript によるプログラミングが始まる。細かい文法の説明を特にはしないので今までのプログラミング言語と比較して違いに気を付けること。 項目の最後の文字は次に示す項目の評価である。 $\mathbf{y}$  (プログラム等のリスト)、説 (プログラム説明が手書きまたは印刷である)、 $\mathbf{Z}$  (結果のキャプチャ画面)、 $\mathbf{z}$  (考察が手書きまたは印刷である) を意味し、次の記号で評価を示す。 $\mathbf{z}$  × (不備またはない)、 $\mathbf{z}$  (もう一息)、 $\mathbf{z}$  (良い)、 $\mathbf{z}$  (大変良い)

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 1 (20%)	□使用中のブラウザと「開発者ツール」の開き方 図 考 □SVG ファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図に開発者ツールの「Elements」タブが表示 リ説 図 考 □開発者ツールのコンソールで直接、簡単な算術式やdocument。getElementsByTagNameを実行 リ説 図 考	□使用中のブラウザと「開発者ツール」の開き方の図または考察がない 図 考 □SVGファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図に開発者ツールの「Elements」タブがない リ説 図 考 □開 発 者 ツール の コンソールで簡単な算術式やdocument。getElementsByTagNameを実行が一部ない リ説図 考	□使用中のブラウザと「開発者ツール」の開き方の図と考察がないか不十分 図 考 □SVG ファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図のいずれかがないか開発者ツールの「Elements」タブがなく不十分リ説 図 考 □開発者ツールのコンソールで簡単な算術式やdocument。getElementsByTagNameを実行がないリ説 図 考
課題 2 (30%)	□window.onload 内でし、ベクリックを登りついる。 リックの属性を表 リックの属性を表 リックの属性を表 リックの属性を表 リックののでし、ぶる。 リックののでし、ぶる。 リックののでし、ぶる。 ロいなのででした。 リックののででででででででででででででででででででででででででででででででででで	window.onload 内でイベントの記録を登時に性図を登時に性図を時に性図を時に性図を時に性図を時に性図を考している。 リ 種を力しての表考 では他をしての表別 り が のののには他をです。	□window.onload 内でしての表す。 □window.onload 内でしての表す。 「ベいを明り少れの理りリ外。 の種類リックの属別ののでしての表す。 □には、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のので

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 3 (25%)	□( <b>必須)</b> 画面全体を覆う長方形の属性 fill を none にした報告があり、考察が正しい。 <b>説 考</b> □( <b>必須)</b> 円にイベント処理関数を登録して円の上をクリ	<ul> <li>□(必須) 画面全体を覆う長方形の属性 fill を none にした報告があるが、考察が一部正しくない。 説 考</li> <li>□(必須) 円にイベント処理関数を登録して円の上をクリ</li> </ul>	<ul> <li>□(必須) 画面全体を覆う長方形の属性 fill を none にした報告がないか、考察が正しくない。 説 考</li> <li>□(必須) 円にイベント処理関数を登録して円の上をクリ</li> </ul>
	ックしたときも移動する図が十分にある。 <b>リ説図考</b> □円上をクリックしたときに色が変わる。説明、考察も十分である。 <b>リ説図考</b> □要素上以外でクリックしたら最後にクリックした短置に移動することを示す図がある。	ックしたときも移動する図が少し足りない。 リ 説 図 考  □要素上以外でクリックした	ックしたときも移動する図がないか、非常に足りない。 リ説図考 □要素上以外でクリックした ら最後にクリックした要素がクリックした位置に移動 することを示す図がないか 非常に足りない。途中の動 作を確認する手段がない。
	途中の動作を示すために console.log を用いている。 リ説 図 考  □(必須) 円の上をクリックすると「円の色を表示(3)」の動作確認が分かる図が十分にある。 リ説 図 考  □svg 要素にイベント処理を付けたある。 リ説 図 考  □対けたある。 リ説 図 考  □面全体を覆う長方形なして、の上も含めてクリックした位置を円の中心に移動する。 リ説 図 考	考  □(必須) 円の上をクリックすると「円の色を表示(3)」の動作確認が分かる図が少し足りない。 リ 説 図 考 □ svg 要素にイベント処理を付けたときの動作の確認が少し足りない。リ 説 図 考 □ 面全体を覆う長方形なしで、円上も含めてクリットに位置を円の中心に移動することが不十分である。リ 説 図 考	リ説図考  □(必須) 円の上をクリックすると「円の色を表示(3)」の動作確認が分かる図がないか非常に足りない。リ説図考 □svg 要素にイベント処理を付けたときの動作の確認が足りない。リ説図考 □面全体を覆う長方形なして、円上も含めてクリンを付けたとい。リ説図考
課題 4 (25%)	□( <b>必須)</b> ビデオ内の「マウス のドラッグを処理」の動作 の気になる点の指摘が正し い。 図 考 □( <b>必須)</b> ビデオ内の「マウス	□( <b>必須)</b> ビデオ内の「マウス のドラッグを処理」の動作 の気になる点の指摘が少し 足りない。 図 考 □( <b>必須)</b> ビデオ内の「マウス	<ul> <li>□(必須) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理」の動作の気になる点の指摘が足りない。図考</li> <li>□(必須) ビデオ内の「マウス</li> </ul>
	のドラッグを処理(改良版)」 で前問の気になる点が修正 の確認と DOM ツリーの変 化の確認が十分になされて いる。 <b>リ 説 図 考</b>	のドラッグを処理(改良版)」 で前問の気になる点が修正 の確認と DOM ツリーの変 化の確認が十分にできてい ない。 <b>リ 説 図 考</b>	のドラッグを処理(改良版)」 で前問の気になる点が修正 の確認と DOM ツリーの変 化の確認ができていない。 <b>リ 説 図 考</b>
	<ul><li>□(必須) 正方形のドラッグの動作が十分である。</li><li>□通常のアイコンのドラッグとの相違点と改善が十分にある。 リ 説 図 考</li></ul>	<ul><li>□(必須) 正方形のドラッグの動作がすこしおかしい。</li><li>□通常のアイコンのドラッグとの相違点と改善が不十分である。 リ 説 図 考</li></ul>	<ul><li>□(必須) 正方形のドラッグの動作がすこしおかしい。</li><li>□通常のアイコンのドラッグとの相違点と改善が不十分である。 リ 説 図 考</li></ul>
	□図形の種類が増えている。 イベント処理関数の処理が 図形の種類が増加しても手 を付けないようになってい る。 <b>リ 説 図 考</b>	□図形の種類が増えていない。 イベント処理関数の処理が 図形の種類が増加しても手 を付ける必要がある。 リ 説 図 考	□図形の種類が増えていない。 イベント処理関数の処理が 図形の種類が増加すると改 良のために手間をかける必 要がある。 <b>リ 説 図 考</b>

## 情報メディア専門ユニットI(演習) 第4回(5/16) プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

## グループメンバー学籍番号

評価	優れている		改良の余地あり
項目 発表 技法 (20%)	<ul><li>□はっきりと丁寧に説明していた。</li><li>□発表の際に聴衆の反応を確かめていた。</li><li>□間の取り方がよかった。</li></ul>	□説明が途切れることが 2,3 か所あった。 □声が少し大きすぎたり小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていないか反応を確かめていなかった。 □決められた発表時間を少し外れた。 □機材の設定や準備に少し時間がかかった。	□声が小さすぎて聞き取れなかった。 □聴衆のほうを全く見ない、反応を無視して行った。 □間がない発表であった。 □発表時間が極端に短い、または長すぎた。 □手元の資料や PC 画面を見て発表していた。 □機材の取り扱いや発表の準備がほとんどできていなかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序に必然性があった □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	□文字だけの発表で、概略が 少しつかみづらかった。 □図の内容が少し見づらかった。 □項目の内容の分量にばらつ きが少しあった。 □スライドごとに情報の詳し さが一部異なりすぎていた。 □ページの分量が発表時間に 対して少し足りない、また は多すぎた。	□ほとんどのスライドで情報 量が少なかった。 □一つのスライドに文字を詰めすぎていた。 □図が大きすぎたまたは小さすぎた。 □スライドごとに情報の詳しさが異なりすぎていた。 □スライドの内容が情報ごとにまとまっていなかった。
発表 内容 (50%)	□内容は適切であった。 □図の使い方がよかった。 □SVGファイルのデモが適切であった。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容のごく一部に説明不足なところがあった。 □図が少なくて説明が少しわかりずらかった。 □SVGファイルのデモの内容が少し足りなかった。 □内容に関して他からの引用が少し多かった。 □それぞれの項目の関連性に少し不十分なところがあった。 □発表内容の必要性の説明が少し足りなかった。	□内容が少なすぎる。 □図を使用していないのでわかりずらい。 □SVGファイルのデモの全くなかったか足りなかった。 □スライドの記述と発言内容に差がありすぎる。 □内容が多すぎて散漫である。 □内容が引用ばかりで自分でまとめた形跡がなかった。 □内容の説明が不十分であった。